授業科目名・形態	公衆衛生看護学実習Ⅱ（保健所・市町村）　実習	必修・選択の別	選択	単位数	3
科目担当者氏名	川村泰子　他	実務経験の有無	有	開講期	4年前期
科目ナンバリング	N6-4024pht				

【授業の主題】

公衆衛生看護の機能と役割について理解を深め、地域や地域で暮らす人々のニーズに対応した公衆衛生看護活動の展開方法について学ぶ。また、地域の健康課題とその解決のためプロセスを理解し実践できる能力を養う。

【到達目標】

1. 公衆衛生看護活動の中心的な機関である保健所と、対人サービスの拠点である市町村の機能・役割を理解できる。
2. 実習地域の社会的・文化的特性をふまえた健康状態をアセスメントし、地域の健康課題を解決するための方法について考えることができる。
3. 個人・家族・集団の多様な健康課題を理解し、健康増進、疾病予防に向けた看護活動を実践できる。
4. 公衆衛生看護活動計画に沿った支援と評価について理解できる。
5. 看護活動を展開するために必要な社会資源の活用と地域ケアシステムについて理解できる。
6. 健康危機管理や公衆衛生看護管理機能を通して保健活動の効果や事業化・施策化・政策化について考えることができる。

【授業計画・内容】

1. 実習オリエンテーション（学内）　実習の目的や目標、実習内容・進め方、留意事項、事前学習等について
2. 保健所実習　県内2保健所で行う。保健所における公衆衛生看護活動の実際を学ぶ。(5日間)
   実習最終日には各保健所においてカンファレンスを行う。
   ※大館保健所・北秋田保健所
3. 市町村実習　県内2市村で行う。市町村における公衆衛生看護活動の実際を学ぶ。(10日間)
   中間および最終日には実習施設でカンファレンスを行う
   ※大館市・上小阿仁村
4. 最終カンファレンス（学内）　グループワーク・プレゼンテーション

【授業実施方法】

保健所（大館保健所・北秋田保健所）、市町村（大館市・上小阿仁村）で行う。

【事前・事後学習】

公衆衛生看護学実習Ⅰで行った地域診断を活かす。
健康教育論および公衆衛生看護技術論で学んだ企画書・指導案を見直す。
実習中のカンファレンスおよび終了後の報告会で学びを共有する。

【主な関連する科目】

公衆衛生学、疫学、統計学、公衆衛生看護に関連するすべての科目

【教科書等】

公衆衛生学、疫学、統計学、公衆衛生看護学に関連するすべての科目の教科書、配布資料等。

【参考文献】

国民衛生の動向、秋田県衛生統計年鑑、実習市町村の事業概要およびホームページで公表されている資料

【成績評価方法】

4/5以上の出席者について公衆衛生看護学実習評価表に基づき総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

教員の実務経験を活かしながら実習指導にあたる

【学生へのメッセージ】

1. 実習生にふさわしい態度（対人面・学習面）を心がける。実習施設によっては、現地に滞在して実習を行うため、」実習時間以外の行動においても社会人としてのマナーを守る。
2. グループ単位の行動が多いため、メンバーシップを発揮し、主体的に行動する。